

歓声上げ満面の笑み

延岡

北川漁協 マスつかみ捕り大会

北川漁協 北川漁業協同組合(長

瀬一巳組合長)によるマスつかみ捕(と)り大会が24日、延岡市北川町の永代橋下の小川であった。地域内外から多くの親子連れが訪れ、歓声を上げて楽しんだ。

「きれいな川に親しむことで自然と共に生きていくことを実感、自然を守る、豊かにする心を育みたい」と、同漁協は河川清掃とセットにしたイベントとして毎年、実施

している。

今回も参加者は約50分間、会場周辺でこみなどを拾った後、マスとの「格闘」に挑んだ。

同橋下流約200坪地点に設置された、深さや広さの異なる4種類のいけすに計300キが投入され、参加者の年代や性別に分かれて懸命にマスを追いかけた。

幼児の競技では保護者も「ここにおるがね」「ガツとつかまなか」など

と熱い声援。子どもたちは、この応援を背に奮闘。1匹の大きさが約20センチあるため、捕まえるのに苦労していたが、見事に捕獲すると「やったー！」と満面の笑みを浮かべて

喜んでいた。

長瀬組合長は「これに機に、台所や風呂の水を流すような意識を持ってくれたらうれしい」と話した。



懸命にマスを追いかける子どもたち